

今までの授業

- ・知識・技術については、生徒によって学習の定着度合いに差が生まれている。
- ・思考・判断・表現について、学習のまとめ等は充実させてきたが、協働的な学習の活動の機会が不足している。
- ・主体的な学習に取り組む態度については、ICT等の活用により、生徒の関心・意欲を高める授業を実践してきた。

今回の調査結果

第1学年

授業アンケートでは多くの項目で100%であったが、基本的な知識の定着はまだ課題がある。

第2学年

授業アンケートでは自分の考えをまとめるという項目で92.9%と他項目より低かった。

第3学年

授業アンケートでは、全ての項目で98%以上肯定的な回答を得られたが、「考えを伝え合う授業」に課題を残した。また、実力確認テストでは都の平均点を6点ほど下回った。

原因

第1学年

授業への取り組みはとても積極的で生徒からの質問で授業が進むことも多い。社会科に興味のある生徒も多い。

第2学年

今年度から単元の導入とまとめを行っているが、まだ定着していない。

第3学年

日々の授業には意欲的に取り組んでいるが、学習内容の定着が十分ではない。また、協働的な学習の機会が依然としてやや不足している。

授業改善の具体的な方策

第1学年

【引き続き重点的に取り組むこと】

各単元で一貫した導入とまとめを行い、単元の理解度を高める。また、他の人と自分が考えたことを共有し、さらに内容を深められるようにする。

【授業の一部または全部を改善すること】

各単元で導入とまとめの時間を確保し、考えを共有する時間も確保する。また基本的な知識の定着も図れるよう大事なポイントを教えていく。

第2学年

【引き続き重点的に取り組むこと】

単元ごとの導入やまとめを他の人と共有することで考えを深められるようにする。

【授業の一部または全部を改善すること】

単元ごとの導入やまとめを、他の人と共有する時間を作る。また、小テストなどを実施し、知識の定着を図る。

第3学年

【引き続き重点的に取り組むこと】

学習内容を明確化するとともに、ICT等を有効活用し、生徒の関心に合わせた分かりやすい授業を実践していく。

【授業の一部または全部を改善すること】

1・2年次の学習内容の復習や、発展的な学習活動を、協働的な学習とバランスを取りながら進めていく。中学校社会科のまとめとして、問題解決的な学習を取り入れていく。